

校内研究だより 第3号

南関第三小学校
令和7年7月23日
研究主任：辻田

【研究主題】

相手意識をもち、自ら考え、学び合う児童の育成
～書く力を高める国語科学習を通して～

【学校教育目標】

やさしく・しっかり考え・たくましい
「南関三小っ子」の育成

【目指す資質・能力】

協力する力・考える力・やり抜く力

- 道徳編 ①多面的・多角的に考えるための手立てはどうすればよいか
②自己を見つめるための展開はどのようにすればよいか

7月11日（金）第5校時、小柳先生を講師に迎え、岡田先生による2年生道徳授業「ありがとうって言わされたよ」（内容項目B（6）親切、思いやり）の研究授業が行われました。

1 題材名「ありがとうって言わされたよ」（日本文教出版）

2 授業後のグループ協議で出された意見より

<良かった点>

- ・「やさしさとは」の価値が、導入のアンケートにてしっかりとつことができた。
- ・「お散歩タイム」「ペアトーク」など、交流の時間が多かった。特に「ミッションカード」のやり取りは、「書いた人」、「もらった人」、の満足感が得られた活動であった。

<課題・改善点>

- ・めあてをデジタル黒板で提示すると、授業中のめあてに対する「立ち戻り」が難しくなる。
- ・役割演技では、気持ちを演者が言っているから、改めて言わせなくてもいい。その時間を、書く活動にしたり、自分の体験談（家族が嬉しくなってくれたこと、など）を発表させた方が、より「周りの人もうれしい」というねらいに近づいたと思う。
- ・活動2や3に時間の比重をかけた方が、よりさまざまな児童の考えが見られたのではないか。

3 共通実践事項※R7年度、「学校化」を目指して取り組んでいきましょう。よろしくお願ひします。



○「お散歩タイム」の導入（答えが分からぬなら、色々な友達の考え方聞いてみよう！）

4 講師 小柳 美穂子先生より

○学習指導要領の道徳編解説より、各学年の内容項目B（6）親切、思いやりについて各学年における内容の確認

○資料「道徳の授業改善に向けて」～子どもをつなぐ多様な指導方法の工夫を通して～（一部抜粋）

- ・導入の工夫（価値への興味の喚起）
- ・考え、議論する道徳とは
- ・発問の工夫（発問の構成）
- ・自己を見つめる場の区別（自己を見つめる発問、問い合わせの発問、GTの活用）
- ・構成的板書



（事後研の様子）

その他、多くの貴重な学びをいただいた時間となりました。小柳先生、大変お世話になりました。早く、夏休み明けの三小の道徳の時間がパワーアップされるのを予感しています。